



イエスのカリタス友の会だより

44号 2024.7.1.発行



SPECIAL REPORT From:

ブラジル(ルール・サント・アントニオ)

ベトナム(ジャンラム共同体)

5本指の祈り (教皇フランシスコ)

親指:自分の身体から見て一番近い指。

最も近くにいる人、愛する人の為に祈ろう。

人差し指:示す指。教える人、指導する人…の為に祈ろう。

中指:長い指。長である人、大統領、大臣、上司の為に祈ろう。

薬指:最も弱い指。弱い人、困っている人…の為に祈ろう。

小指:最も小さな指。他者にとって自分の存在がいかに小いかを思い、自分の為に祈ろう。

小さな友にあっぱれ!

5月の日曜日、ある教会でミニバザーを出させていただきました。

子どもたちも日曜学校の後、バザーをのぞきに来てくれました。彼らの手の届く価格のレターセットや小さな編みぐるみは、すぐに目を引いたようです。それぞれが友達とお揃いの物や、好みのものを探している姿は、とても嬉しげで楽しそうでした。そのような中、お小遣いを持ち合わせていない2人の低学年の子どもの話が聞こえてきました。家は近いようだが、どうも今日のためのお小遣いは期待できそうもないような話……。私は、彼女たちを喜ばせようと、「お金はいいわ、どうぞ」と言いたい思いを飲み込んで、すぐ隣にあるルルド(マリア様の現れた洞窟を模した場所)に2人を誘い、「さあ、一緒にお母さんのためにお祈りしましょう。」と促して、「アヴェ・マリアの祈り」を唱えました。そして、少し話しを交わしてから「これはプレゼントしますね」と、小さな品を差し出しました。2人はそれを受け取ると喜んでどこかへ走っていきました。しばらくして戻ってきて、お互いに何か話しをしています。じっと耳を澄ますと、「あー、私はなんて自分のことしか考えていなかったんだろう。お母さんにあげることにすればよかったな……」「お父さんのため、とか。父の日も来るし……」と。

突然どうしてこのような気持ちになったのかわかりませんが、プレゼントは嬉しかったし、満足したはずです。自分の望みがかなったわけですから。受けた喜びにとどまらず、他者を思う心、大切に思う心をもった「小さな友にあっぱれ!」。心温まるプレゼントをもらったのは、私の方でした。

このような子どもたちの感性、素朴さ、真っすぐなあり方に出会う度に、イエス様が子どもたちをご自分の近くにお呼びになり、祝福し「天の国はこのような者たちのもの」(マルコ 10:14)と言われたみことばを思い出します。そして、神が「ご自分にかたどって、似せて創造された」(創世記1:26)人は、このような心を宿す者。たくさんの思惑を持ち、自分の損得や計算高い選択で動きがちな私たち大人も、他者へと向かう心、自分を明け渡す心を持つ者です。世界には破壊、死、略奪で極限の生活を強いられている人々が多くいますが、子どもたちが、この「あっぱれな小さな友」のような心を持ち続けることができるなら、未来は今よりずっと平和で神の心に適った世界になるとの希望が湧いてきます。

友の会の会員の皆さま、いろいろな形で活動をご支援くださる皆さま、暑い毎日いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

私たちの活動は、様々な理由・状況の下で助けを必要とする他者のために奉仕することです。それは、イエスのカリタス修道女会の「貧しい人、悲しんでいる人、青少年と共に歩み、イエスのみ心の憐み深い愛を証する」使命を分かち合っているのです。皆さまからのご支援は、それを必要とするところへ継続的に届けられ、多くの人々、子どもたちの生活が少しずつ改善され変化しています。現地からの感謝をこの報告書から汲み取っていただけたら幸いです。どこにいても、共に祈る心で毎日の小さな出来事に感謝し、神さまの造られたすべてのものを大切に思う心をもって生きていけたらと願っています。

歩みを共にしてくださる皆さま方に心からの感謝を申し上げ、皆さまとご家族の上に神さまの豊かな祝福をお祈りいたします。

最後に教皇フランシスコの回勅「兄弟の皆さん」の一節を書き留めておきたいと思います。「『一人ひとりの存在は他者の存在と深く結びついているということ、人生はただ過ぎゆく時間ではなく出会いの時間だということ』です。」

6月の初め、まだまだ大変な状況の輪島で出会った幼稚園の子どもたちの笑顔と、キラキラとした目が忘れられません。震災した方々への支援が進むことを願いつつ。

イエスのカリタス友の会 コーディネーターSr.浜崎昌子





ブラジル

イエスのカリタス友の会の皆様

いかがお過ごしでしょうか。皆様におかれましては神様のご保護のもと心身ともにご健勝のことと拝察申し上げます。また、お祈り、心温まるご支援に心から感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、食糧支援を頂きました前期のご報告をさせていただきます。

申請額（全額ご支援いただきました）

507,852 円（15,717.00 レアル）

1 レアル=30 円 / 2024 年 6 月 18 日現在

（月 1,300.00 レアルで使用させて頂いております。）

ブラジルの学校は半日制で、授業がない時間、子供たちは安全に過ごせる場所が必要です。ユースセンターには 6 歳～15 歳までの子ども達 150 名が在籍しており、午前または午後の時間をこちらで過ごします。コンピューターの基礎情報処理、スポーツ、手芸品作り等のプログラムを提供しています。

また、職員とシスター達で家庭訪問を定期的に行ない家庭への働きかけもします。前期の主な行事は復活祭、遠足、市のお祭りへの参加でした。



手芸品作り



昼食

子ども一人ひとりを大切に、共に活動し同伴しながら教育しています。今回皆様からのご支援で昼食のための食品（肉製品・米・砂糖）を購入させて頂きました。

養護施設は 20 名定員で、現在は 0 歳～17 歳までの子ども達が 7 名入所しています。入所理由は様々ですが、主にネグレクト、虐待、親との死別などです。ブラジルでは長くても 18 ヶ月の間に、家庭支援や家庭環境の改善、または養子縁組への手続きが行われます。場合によってはこの期間を延長することもあります。職員とシスターで家庭訪問を行ない、保護者の方とよく話し合い、子ども達が早く家庭に戻る事が出来るように支援しています。前期は子ども達の通院や入院があり、サンパウロまで行くのには時間がかかり、軽食やおやつを準備しなければならず、皆様のご支援に大変助けられました。ブラジルでも物価高騰が続いておりますが、育ち盛りの子ども達に必要な栄養のある食事を提供していきたいと思っております。友の会の皆様からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

ルール・サント・アントニオ

施設長 シスター黒崎

カリタス友の会よりの支援金（食糧支援）507,852 円（15,717.00 レアル）

1 月～5 月までの報告

（単位：レアル）

日付	品目	金額	残高
			15,717.00
1 月 12 日	パン牛乳・マーガリン・チーズ・トマトソース・粉末ジュース（ユースセンター）	963.10	
1 月 16 日	菓子・果物（養護施設）	119.08	
1 月 22 日	パン・ハム・チーズ（養護施設）	222.00	
		1,304.18	14,412.82
2 月 5 日	飲料代（養護施設）	19.10	
2 月 9 日	軽食代（養護施設）	54.98	
2 月 15 日	パン・コーヒー（養護施設）	24.50	
2 月 19 日	米・砂糖（ユースセンター）	831.36	
2 月 27 日	菓子・ジュース（養護施設）	70.81	
2 月 28 日	パン・ハム・チーズ（養護施設）	240.00	
2 月 29 日	軽食代（養護施設）	20.00	
		1,260.75	13,152.07
3 月 11 日	肉製品（ユースセンター・養護施設）	1,317.72	
		1,317.72	11,834.35
4 月 15 日	肉製品（ユースセンター）	794.61	
4 月 15 日	肉製品（養護施設）	511.19	
		1,305.80	10,528.55
5 月 1 日	菓子（養護施設）	120.00	
5 月 6 日	小麦粉・ビスケット・ジャガイモ（ユースセンター）	409.38	
5 月 15 日	肉製品（ユースセンター・養護施設）	594.75	
5 月 16 日	パン	156.00	
		1,280.13	9,248.42

ルール・サント・アントニオ
養護施設一部改築のご報告

今回改築しています養護施設に隣接する建物は、児童のシャワー室、洗濯場として使用され、その後、ユースセンターの作業場としても使用されてきました。最近では倉庫、収納スペースとして使って参りました。しかし老朽化が進み、雨漏りや衛生面を考慮して整備が必要となりました。リフォームも考えましたが、建設の為の資材や電気配線などを考えると、建て替えの方が良いと判断いたしました。子ども達と家族がよりよく利用できるように、子供部屋（勉強スペース・読書スペース）・応接室・倉庫とする設計で着工となりました。11月下旬から屋根の取り外し、建物の中の洗面台、棚、家具等を撤去する作業が行われました。再利用出来る物は利用することにして、それ以外の物は廃棄処分、リサイクル業者へ配送されました。計画当初は排水溝を再利用する予定でしたが、長い期間利用されておらずふさがれていたため、新たに排水

溝のための追加工事が発生しました。解体作業は予定通り終了、基礎工事、改築工事へと進んでいます。

1月26日からはコンクリートが注入され、2月2日にはブロックを積み、外壁工事へと移りました。内壁の一部は乾式壁の素材からブロック壁に置き換える必要があり、追加で購入しました。また、工事計画に入っていなかった外階段の工事が必要となり、更に追加の5,500.00レアルを支払うことになってしまいました。

これから完成するまでにはさらに費用がかかりますので、イベントやご寄付を募って工面する必要があります。養護施設としての良い環境を整え、子ども達のために努力して参りたいと思います。

皆様からの温かいご支援、ご協力に心より感謝致します。ありがとうございました。皆様のためお祈りいたします。

ルール・サント・アントニオ
施設長 シスター黒崎







イエスのカリタス友の会の皆様
いかがお過ごしでしょうか。

ベトナムより近況報告と感謝のお礼を申し上げます。

今年のベトナムはエルニーニョ現象の影響で、今年の11月から今年の4月末までホーチミン市中心部では広範囲で猛暑が続き、過去30年で記録的な猛暑の年となっており、例年になく暑い日々が続いていました。この乾季の期間は、ほとんど雨が降らず、乾燥した空気の状態が続きます。5月半ばにやっと雨季に入り、大地が潤い、気温も下がり過ごしやすくなりました。



皆様からご支援を頂いていますジャンラム共同体は、幼稚園開始に向けて行っていた建物の増改修工事も無事に終了し、2024年1月31日に落成式を行うことができました。建物の落成とともに幼稚園開始に向けての申請も始め、担当のシスターが何度も役所に通っていますが、申請許可がなかなか下りない状態が続いています。これが共産圏の難しいところです。そのような状態ですが地域の方々からは、いつから幼稚園が始まるのかと問い合わせも多くあり、私たちはいつ許可がでるかわからないため、許可が下りるのを待たずに子供たちを受け入れることにしました。2024年3月11日に、3名の子供たちが来園し、この日は、本会のベトナム共同体にとって、小さな第一歩を踏み出す歴史的な日になりました。

子ども達は今14名在籍しています。朝7時、順次登園してきたら涼しいうちにマンゴーの木のある庭で思いっきり走りまわり、日中は暑い室内でテレビを使って体操したり歌を歌ったり、遊具で遊んだり、そしてシスターが作った給食を頂き、午睡に入ります。午睡のために購入したベッドは、軽量で子供たちも運べるため自分たちで寝る準備もしています。また、軽量なうえに水洗いも可能なため、汚れたらすぐ洗うこともでき、週末には全部水洗いをして干し、次の週のための準備をしています。

イエスの友の会の皆様から頂いた支援金（2022年度分50万円を含めて）で、幼稚園開始のための備品として、テレビ・浄水機・ベッド30台・机10台・椅子20台・食器棚・食器・遊具（馬）6台・ボールなどを購入させていただきました。今、これらの物を使用して子ども達が、元気に楽しく幼稚園の生活を送ることができています。ありがとうございました。

小さな歩みを始めた私たちですが、イエスのカリタス友の会の皆様には、これからも私達の活動を支え、導き、助けていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。私達も、イエスのカリタス友の会の皆様のために感謝のお祈りをお捧げいたします。



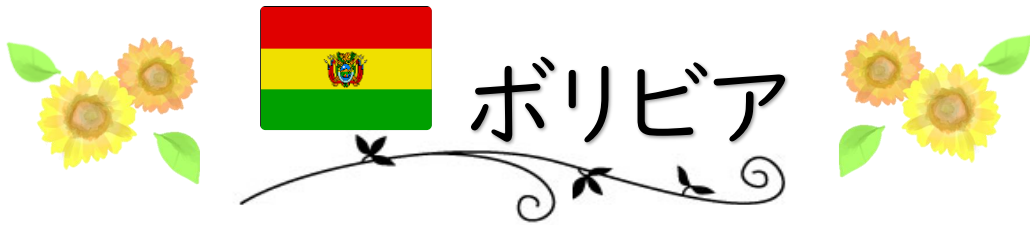
ベトナム共同体代表

シスターマリア・コンチェッタ山田睦美

ジャンラム共同体代表

シスターマルガリタマリア グエン ティ ラン





ボリビア国サンタ・クルスでは、トボロッチの花の咲く秋の頃となりました。オガール・ファティマ乳児院より感謝の心を込めてご挨拶いたします。2024年度も子供たちの食費（おやつと食事）、そして2名分の職員給与のご支援をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

ボリビアでは、昨年から国内でドルが不足しており、ドルの流通が低下しています。近隣国や中国からの輸入品が多いボリビアは、このドル不足で物価がじわじわと上がって、私たちの生活への影響が目立ってきました。例えば野菜は値段が全体的に上がり、とても不安定です。因みに玉ねぎは1kg 10ボリビアーノスだったのが2倍になり、トマト1kgが、6ボリビアーノスから18ボリビアーノスまで上がったり下がったりして、食卓にも影響が出ています。オガール・ファティマ乳児院では、Abasto市場の八百屋さんに週1回配達してもらいますが、不足分を近くの4 de Noviembre市場に買いにいきます。豚・牛・鶏、レバーやレンズマメなど豆類のタンパク質、野菜、炭水化物の栄養バランスを考えた献立に沿って買い出しをします。残念ながら人手が足りず、おやつの手作りはあまりできませんので、1回のおやつは果物を、あと1回分は市販のお菓子を購入しています。しかし、先立つものがないと買い物もできません。ほんとうに腹立たしいことは、今年はなんと1月から5月までの5ヶ月分も県庁からの生活補助金の支給が遅延したことです。

やっと3ヶ月分だけが支給されただけで、どうにかこうにかやりくりしながら急場を凌ぐしかありませんでした。この状況に施設長たちは、「国は、子どもたちが飢え死にして構わないのか？」と直談判に何度も行きましたが、議会で予算が承認されていないなどの返答で、遅々とした対応に忍耐するしかありませんでした。このような中、イエスのカリタス友の会からいただきました支援金は、乳児院にとって大きな救いでした。

日本でも円安、物価高が生活を圧迫していると聞いています。世界的にこの困難な時にありながら、継続して温かい手を差し伸べて下さるカリタス友の会の会員・支援者の皆さまは、私たちオガール・ファティマ家族を支え、見守り、共に歩んでくださる友であり、家族のような存在だと思っています。オガール・ファティマの子どもたちにとって、私たちが関わる時間は、人生の始まりの短い時間かもしれませんが、カリタスの子どもとして愛情をいっぱい受けて、健やかに、たくましく成長できるように見守っていきたいと思います。どうぞこれからも私たちの歩みに寄り添ってくださいますようお願い申し上げます。

いつくしみ深い神様が、皆さまを豊かな愛と祝福でやさしく包み、力と勇気を与えてくださいますように、オガール・ファティマ家族一同お祈り申し上げます。

オガール・ファティマ乳児院 一同

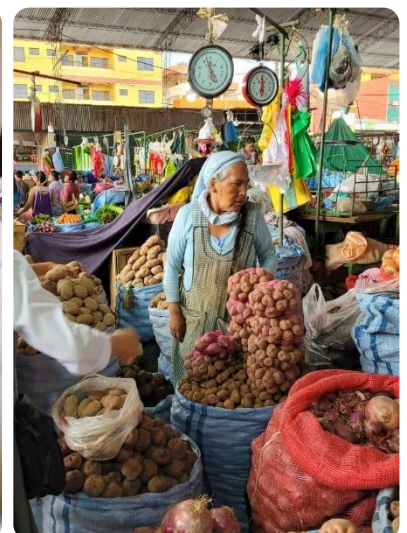
(備考：1ボリビアーノ=22円/2024年6月18日現在)



食事



子ども達の日常



市場での買い物

南スーダン

イエスのカリタス友の会の皆さま

いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

皆様からの心温まるご支援を頂き、チルドレンセンターに通う子ども達とともに毎日を過ごしております。物価高騰の影響は南スーダンでも顕著で、今まで子ども達に提供できていた、栄養のある食事やおやつが滞ってきています。予算に合わせて食の質も変えざるを

得ません。各家庭では食事を摂るのも難しい現状の中、チルドレンセンターでの唯一の食事やおやつで育まれる子ども達は、皆様からの温かいご支援に大変助けられています。心より感謝申し上げます。皆様の上に神様の祝福とマリア様のご保護が豊かにありますようにお祈りいたします。アフリカ地区南スーダン一同



ペルー

カリタス友の会の皆さま

いかがお過ごしでいらっしゃいますか。南米ペルー共和国リマ市は秋の気配を感じる頃になりました。日中と夜の寒暖差が生徒達の健康にダメージを与えているようです。3月4日から全校生徒43名で新学期をスタートしました。皆様からのお祈り、ご支援によって少しずつではありますが、生徒が増えてきています。

昨年、ルセロという卒業生が教育の大切さを感じて、感謝の手紙を書いてくれました。(左側の記事)また、奨学金を受けている生徒の母親は毎日、幼児部の掃除をしながら感謝の気持ちを表しています。他の生徒達も皆様からの温かいご支援のお陰で、学ぶ楽しさや難しさ、友達との関わりを大切にしながら過ごさせていただいています。皆様からのお祈り、ご支援に心より感謝申し上げます。皆様お一人ひとりに神様の豊かな祝福がありますように、お祈りいたします。

アントニオ・カヴォリ学園
校長 シスターヨハンナ林 恵

Mi Querido Colegio gracias por ayudarme en una pequeña etapa de mi vida y Dador lo mejor de mi y enseñarme el buen camino aprendí a escribir ya que cuando entro en primer grado escribía lento, aprendí la historia de Dios que es muy interesante, agradezco que me acogiera en mis momentos más difíciles, ya que cuando entro a mitad de año en segundo en mi antiguo Colegio sufrí de bullying pero cuando llegué todos me trataron bien los agradezco mucho.

人生の小さな段階で私を助けてくださって、私の内にある良いものを引き出し、正しい道を教えてくれて、ありがとうございました。1年生になった時、書く事が遅かったので、書くことを学びました。神様のことを学び、とても興味深く感じました。友達にも感謝しています。以前通っていた学校でのいじめに苦しんでいた私が、1年生の途中で入学し、最も困難な時、皆が歓迎し良くしてくれました。彼らにも感謝しています。
Lucero Fernanda, A



朝の集会

イエスのカリタス友の会 会計報告

2023年4月1日～2024年3月31日

《収入の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
寄付金収入	6,171,809	
一般からの寄付金	4,921,550	
CDによる寄付金	1,250,259	
その他の収入	1,041,677	
バザーによる収入	957,808	
雑収入	83,869	(切手売り上げ・書き損じ葉書・EM石けん・ケーキ代他)
当期収入合計	7,213,486	
前期 繰越金	2,673,853	
収入の部合計	9,887,339	

《支出の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
宣教活動支援費	8,221,260	
イエスのカリタス会 日本管区 (ベトナム)	103,808	教会活動のためにパソコンとスピーカー 93,808 指定献金 10,000
イエスのカリタス会 ブラジル	3,313,452	ラルガント・アントニオ養護施設・ユースセンター 食糧支援 507,852 / 建設人件費・材料費 2,805,600
イエスのカリタス会 ボリビア	3,594,000	オガールファティマ乳児院 職員給与(2名分)・食糧、おやつ支援 3,174,000 指定献金 420,000
イエスのカリタス会 ペルー	950,000	アントニオ・ガリア学園就学支援 15名分の補助 500,000 指定献金 450,000
イエスのカリタス会 南スーダン	260,000	指定献金 260,000
運営費支出	313,572	
友の会便りの印刷	213,400	イエスのカリタス友の会だより 2回分
通信費	60,405	友の会だより送料 2回分、切手、レターパック代
消耗品費	38,117	友の会だより用封筒代、バザー用ケーキ材料・袋
手数料	1,650	郵便口座トークン手数料
当期支出合計	8,534,832	
次期 繰越金	1,352,507	
支出の部合計	9,887,339	

寄付支援者

2023年12月6日～2024年6月20日（敬省略・順不同）

佐藤 安英	浅川 敦子	高平 有希歩	八島 厚子	櫻田 華純	成田 信義
堀田 修平	佐藤 朝子	吉木 敏子	山田 幸子	松原 久美子	金泉 松男
松本 尚也	常清 操子	中平 寵子	武藤 浩子	友井 秀子	黒澤 順子
河東 晴子	緒方 みゆき	高島 晶子	田口 当和江	富川 淳子	鈴木 京子
鈴木 裕子	出口 登代美	坂原 瑞穂	小林 一	西垣 真子	中田 澄江
佐々木 明美	井上 進二	溝井 光子	久保 瑞穂	山田 久美	今城 章雄
大河内 典子	笠間 恵美子	観世 静子	越智 泰子	田中 智子	藤代 真知子
佐々木 健太	井手 順子	藤沢 雪子	効効 EKO	土井 淳子	奈良 美淳
藤原 康子	中村 清子	村田 洋子	西川 孝子	豊嶋 キヌヨ	黒瀬 薫
橋本 晴子	戸澤 陽子	森 英代	鳥井 るり子	Quemada Family	Beredo Family
洞口 優子	赤澤 進	内田 健志	大山 みどり	西野 成葉・しょう子	
目羅 美和子	高平 淑子	山口 千代子	三浦 洋次郎	山下 和幸・トシ子	橋本 恵美子
池田 寿美子	小松 多佳子	森 一	戸澤 博	中島 修・恵	中島 恭子・晶子
内田 三知敬	佐藤 操子	石川 督	徳 美保子	田畑 浩隆・美智子	豊島 究・あんづ
武田 美穂	真島 顕子	根本 左穂子	増田 百合	山邊 裕一・加美恵	濱口 重孝・輝子
宮澤 伸子	八木下 泰博	鳥居 孝一	国吉 光	谷口 初男・ヤス子	秋元 順子・将哉
吉川 寛幸	明石 嘉浩	本村 多恵子	森宮 孝子	高田 喜雄・不二子	本村 哲也・久代
三輪 峰子	小西 由美子	徳矢 貢一	刑部 敏子	西山 浩・クニ子	杉山 憲次・尚子
村瀬 則夫	村ハラ コヅロウ	田中 繁	岩田 貴子	矢野 順市・美雪	松尾 貢 神父様
柿沼 志津子	福島 美香	弥忠田 英知	片山 久美子	横浜 雙葉小学校	井荻聖母幼稚園
春木 雄一朗	曾我 千瑳子	奈切 博	松本 保子	不二聖心女子学院父のサークル	
安田 くみえ	鍋内 初恵	井上 尚美	中村 廣志	カトリック関口教会野のゆり会	
阿南 ゆかり	松原 久美子	鳴海 京子	谷川 京子	カトリック調布教会	
村橋 美咲	宮島 智美	松山 篤則	田垣 裕子	カトリック調布教会聖歌隊	
藤嶋 史子	石黒 智泰	小林 一	本田 京子	カトリック三原教会	
曾根田 秀子	仲村 トミ子	吉田 博	大泉 由美子	カトリック大宮教会	
並木 章子	藤沼 淑子	中村 従子	仲田 敏子	カトリック下井草教会・手芸の会	
唐木 武志	上村 伴子	牧田 みどり	山賀 路子	カトリック碑文谷教会	
矢吹 文江	田土 佐知子	尾下 正次	宗元 明子	カトリック横須賀大津教会	
横関 裕美	城 麗子	狐塚 真美子	生沼 美津代	カトリック文化センター	
井上 保徳	藤倉 和歌子	里 美千代	高田 保子	宮崎県カトリック女性の集い	
吉田 有美	副島 ますみ	成澤 美希	山口 絹代	聖ヨハネ会忍野修道院	
中村 妙子	北風 名津子	大橋 由美子	野中 貞子	聖心保育園(三原) 聖母幼稚園(青梅)	
枝 孝子	古森 郁代	武川 真理	岩本 健	都城聖ドミニコ学園幼稚園	
神保 朱美	後藤 緑	横田 幸子	北原 真理	都城聖ドミニコ学園幼稚園父母の会	
吉雄 直子	星野 亜紀子	菊池 弘美	ヨダ ヒデコ	カトリック・カリタス幼稚園	
村上 勇夫	蜂谷 多香子	峯 晃子	米村 あずさ	カトリック聖クララ幼稚園	
加藤 勤子	西戸 富雄	山縣 久美子	町田 房子	めぐみの聖母保育園	
高沢 みゆき	関口 英子	七澤 順一	引網 康子	松本ドン・ボスコ保育園	
古川 美代子	井之上	山下 越子	中野 敦子	井荻第2修道院	宮崎修学志願院
佐野 順子	豊島 宣子	大熊 裕紀	大船修道院	デュセルトル修道院	管区本部修道院

活動報告・切手整理

多くの方々のご協力で沢山の使用済み切手、未使用切手、書き損じはがき、外国コイン・紙幣をお送りいただきました。心より感謝申し上げます。今年に入り2月から6月まで、月1回のペースでご協力くださる皆様にお集まりいただき、切手整理をすることができました。ありがとうございました。今回は業者様のご都合により、整理した切手を送ることができませんでした。8月以降お送りする予定です。ご報告を合わせまして次回45号にてお知らせさせていただきます。ご理解の程よろしく願い申し上げます。



使用済み切手・未使用切手・書き損じはがき・外国コイン紙幣支援者

2023年12月6日～2024年6月20日（敬省略・順不同）

石井 多香子	広田 三枝子	武井 ちね子	池田 寿美子	岩田 貴子	岡田 琢
中根 恵子	嶺 英樹	出口 登代美	須田 加矢子	杉山 憲治・尚子	中谷 淳子
吉田 有美	三輪 峰子	曾根田 秀子	宮澤 伸子	椎原 伊三男・園美	福島 美香
小川 寛子	末武 恭江	曾我 千瑳子	武田 和子	横浜ひかりライオンズクラブ	
長谷 由香子	石井 房江	山縣 久美子	大橋 春美	大和物流株式・近藤 奈生子	
小松 多佳子	宮崎 正子	多田 直子	宮島 智美	介護老人保健施設ニューライフガラシア	
椋沢 敦子	山田 久美	池末 憲子	片瓜 かな江	聖マリア病院チャプレン室	
鈴木 裕子	中村 廣志	峯 晃子	川崎・植田	介護老人保健施設千の風	
渋谷 琢磨	立松 美也子	栗原 泰子	立松 美也子	福岡地区カトリック女性の会	
藤嶋 史子	久保田 蘭子	坂原 瑞穂	緒方 みゆき	サレジオ小学校環境委員会	
藤原 康子	片山 久美子	中村 万里子	瀬古 典子	星美学園小学校奉仕委員会	
村橋 美咲	榎本 希世子	阿部 芙美子	松本 保子	カトリック新潟教区本部事務局	
大八木 寿美子	角 敬太	酒井 健一	河野 由美	カトリック関口教会	
斉藤 禎子	小島 圭子	三宅 映子	山口道晴神父様	カトリック徳山教会	
ディアッコ 亜紀	小笠原 勇	三宅 夏音	中野 泉 神父様	カトリック松江教会	
林 ヤヨイ	林 憲治	濱口 久美子	山田 良	カトリック碑文谷教会	
田才 淳子	山口 祥世	簗田 純子	古家 純子	カトリック青梅教会	
小池 民恵	諏訪 まゆみ	中田 澄江	山本 啓子	カトリック関町教会	
成内 祐介	中村 清子	渡邊 以文	山崎 和子	カトリック葦崎教会	
宮脇 裕美	花岡 悦子	別府 和子	有吉 みどり	カトリック習志野教会聖歌隊	
吉雄 直子	谷川 京子	薬真寺 真理枝	門司藤松郵便局	日本キャラー合同会社神奈川工場	
丸谷 晴康	ドン・ボスコ社	まりあ幼稚園	聖母幼稚園	小田原松風ライオンズクラブ 石川 秀明	
松の寮 紅葉寮	井荻聖母幼稚園	笠利聖母保育園	小百合の寮	高橋宅建一級建築士事務所	
天使育児園	名瀬修道院	別府修道院	東京修練院	聖マリア学院大学カトリックセンター 田上	
三原修道院	亀川修道院	甲府修道院	サタマリア修道院	サレジアン・シスターズ調布修道院	
門司修道院	井荻第2修道院	青梅修道院	管区本部修道院	都城聖ドミニコ学園幼稚園	

活動報告・バザー



4月14日(日)カリタス会管区本部にてバザーを開催することができました。4月にしては暑く感じるほどの良い天気にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。様々な形でご協力下さいました方々、温かいご支援を下さいました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



バザー協力者

2023年12月6日～2024年6月20日（敬省略・順不同）

坂本 順子	中谷 淳子	泊 とも子	岩田 貴子	田垣 裕子	大八木 寿美子
飯田 昌子	花田 喜子	南 笑子	岩田 純子	大曾根 幸子	本田 京子
金森 章子	長谷 由香子	小島 圭子	中村 廣志	木村 喜美子	松本 啓子
堀 清子	浦田 幸子	園田 翠	佐藤 操子	ドモンドン・ダニエル・芙美子	
恩田 孝子	木村 正子	内山 アヤ子	石井 房枝	カトリック碑文谷教会	
羽田野 徳子	佐藤 七津美	山縣 久美子	後藤 緑	カトリック下井草教会	
飯島 美智子	三宅 映子	松本 保子	広田 三枝子	カトリック下井草教会手芸の会	
栗原 泰子	山本	片山 久美子	井手 順子	聖母幼稚園日曜学校（青梅）	
藤原 康子	山下 越子	中野 敦子	石井 多香子	井荻聖母幼稚園日曜学校	
杉谷 浩子	中村 幸子	岩田 良之	武井 ちね子	川南アントニオ修道院	
松原 久美子	曾我 千瑛子	末武 恭江	池田 寿美子	潜竜修道院	川南修道院
宮島 智美	大滝 秀美	関根 由利子	竹内 紀美代	多摩修道院	東京修練院
伊藤 紀子	大平 智子	岡田 琢	小川 寛子	宮崎修学志願院	管区本部修道院
武田 和子	谷川 京子	宮嶋 敬子	村越 みどり	外海修道院	甲府修道院

匿名希望の方も含め、多くの方々にご支援、ご協力を賜りました。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



支援者の声



カリタス友の会みなさまへ

今年も使用済み切手を学校のみんで集めました。少しでも困っている人やたいへんな人になれば嬉しいです。来年も環境委員会の活動の一環として使用済み切手を集めたいと思います。

環境委員会一同(11人)
サレジオ小学校(小平)

私は社会福祉法人カリタスの園に勤めていますので、シスター方が子ども達のために食糧、医療、教育支援のために世界各国で活動なさっていることをお聞きする事があります。宣教地でのシスター方の活動のご苦労は私の想像を超えるものだと思います。アフリカに旅立たれたシスターのお写真を「友の会だより」で見つけた時には感動し、シスターと子ども達の笑顔を目にして私まで幸せな気持ちになります。昨年「宮崎県女性の集い」を宮崎修道院の聖堂をお借りして開催し、参加者から沢山の古切手などを協力していただき「友の会」のことを知っていただく機会になりました。今後も友の会のことを広めていき、世界でご活躍のシスター方のお役に立てればと思っております。

山田久美

入会者(敬称略)

本田 京子 ・ 中島 修 ・ 中島 恵 ・ 中島 恭子 ・ 中島 晶子

毎月10日には、イエスのカリタス友の会の会員のためのごミサ(お祈り)が、イエスのカリタス修道女会管区本部修道院聖堂において捧げられています。どうぞ心を合わせてお祈りください。



入会ご案内



イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う活動を、財政的に支援する事を目的とするボランティアグループです。

会員の活動

任意の時期に、任意の金額を友の会に寄付します。(入会費・年会費はありません)
可能であれば、バザー、使用済み切手の収集・整理、その他の活動に参加、協力します。

個人情報について

入会時に受け付けた個人情報は、友の会事務局にて慎重に管理されます。同会会員に対しても公開は控えさせていただいておりますので、ご了承ください。尚、ご寄付・バザーの物品提供・使用済み切手の収集等にご協力いただいた際には、次回発行される「イエスのカリタス友の会だより」にお名前のみ掲載させていただいております。匿名希望の方は、その旨をお知らせください。

会員の資格

5年以上連絡がない場合、会員の資格は消失いたしますのでご了承ください。

入会について

入会ご希望の方は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号をTEL・FAX・メールのいずれかの方法で事務局にお知らせください。入会希望を受けて、「イエスのカリタス友の会の規約」をお送りいたします。

友の会会員のために

毎月10日にミサを捧げ、ご支援くださる方への感謝と報告を兼ねて、年2回「イエスのカリタス友の会だより」をお送りしています。イエスのカリタス友の会の趣旨をご理解くださり、賛同してくださる方は事務局までご連絡ください。

(最終ページにあります)

事務局からの声

令和6年に年が改まったばかりの1月1日夕刻、発生した能登半島地震のニュースに呆然となりながら、能登・七尾に住む妹、弟にメールをすると、「怖かったけど無事。今日は車中泊」の短い返信がありました。能登半島の付け根にあたる七尾は、わたしの故郷です。5月下旬、父の法事があり帰郷しました。列車から見える風景は、被災した家屋の青いブルーシートが所々に見える一方、田植えが終わったばかりの田圃には早苗が風にそよぎ、能登の黒瓦は太陽に反射して眩しく見える、変わらないふるさとに映りました。が、能登半島全体を見ると、地理的条件も重なり、地震からの復旧・復興へのスピードは鈍いと感じます。不自由な生活をされている方々を忘れず、一日も早く穏やかな日常をとり戻されることを願い、皆様とお祈りをともに続けます。「負けないぞ七尾 ともに支えよう能登半島」

(K.K.)

新緑の美しい季節が聖母の月と共に、今年も巡って参りました。友の会会員の皆様そして、御支援下さいます皆様の温かい御協力に支えられて今日が続いております事に深く感謝を申し上げます。ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとパレスチナの戦争など大義をかざして悪びれもせず戦争を続けているのが、決して良い事ではないと地球上のほとんどの人々は思っているのですが、止める事も終結に向ける事も出来ません。どうすれば良いのでしょうか。この様な情勢の中でも、イエスのカリタス修道女会のように南米、南スーダン、フィリピンの宣教地で奉献されておられるシスター方のお姿が星のように輝いて見えます。星に導かれて着いた所が「まぶね」であった様に、神様が大切にされている事は権力や武力ではなく、他の人の為に己を捧げる事とお示し下さった様に思います。私達一人一人の力は小さいけれども、皆様の御協力を頂きながら宣教地のご要望に、少しでも応えて差し上げられる様に、歩いて参りたいと思います。(Y.M.)

何十年も昔、ローマを訪れた亡き夫の話です。カリタス会の修道院は静かな住宅街の広い敷地に、古式な貫禄のある建物があり、そこで学校を運営されていました。夏季学校の最終日だったのか、親の迎えを待つ子供が3人程遊んでいました。その中の1人レアンドロ君はなかなかイタズラさんながら賢く、人懐こく、夫と仲良くなったようです。別れる時、夫は自分の時計を、彼はシンガポール土産を交換。それから一度も会うことはできなかったのですが、夫は時々思い出したように、彼は立派な青年になっているか、父親になっているかなあと言っていました。その頃いらしたシスターがレアンドロ君に夫が亡くなったと連絡して下さったのでしょう。お母様と二人で修道院にいらっしゃり、祈って帰られたと東京に戻られたシスターから話を伺い、遠いイタリアからの祈りが繋がっている感激を覚え、会ったこともない彼とお母様の為、私も祈らなければと強い思いになりました。友の会一員として、目に見えない方達との祈りを大切に繋がっていきたいです。(T.I.)



世界のあちこちで大人が始めた戦争が子ども達を不幸にして、世界中が止めて欲しいと叫んでも収まる気配がありません。それでも私達の日常は回っています。日々自分らしく自分に何ができると探りながら生きていかなければと感じます。私の卒業した大学では、卒業して50年目でホームカミングとして卒業生を招いて下さり、お祝いして下さいます。今年是我们の番です。本来は3年前でしたがコロナ禍で延期になり、3年まとめてのお祝いでした。私達の学生時代は学生運動真っ只中。今の学生達とは全く違う学生生活でした。卒業して約50年、多少姿形は違っていても話し方、仕草は当時そのままでした。そんな話をしていたら、どうしても思い出せない人と隣り合わせになり、話が合いません。おかしいな…と思ったら本当に知らない隣のクラスの人だった、と笑い転げいっぺんに昔の若々しい笑い声に。思い出は何時も懐かしく心を癒してくれます。戦争や災害で悲しい思いをしている子ども達も、将来は明るいと感ぜられる世界になります様お祈りしながら、ささやかなご奉仕を続けていけたらと思います。シスター方の働きをお手本にしながら。

(K.Y.)

カリタス友の会事務局のお手伝いを始めて10年近くになって初めてカリタス修道会誕生について書かれた“ひまわりは太陽に向かって”を読みました。修道院に伺うといつも手入れの行き届いたお庭に四季折々の花が咲いています。育てた花で祭壇を飾る。これはカヴォリ神父様の勧めであったと知りました。いつも朗らかなシスター方、これもひまわりのようにと願った神父さまの想いが引き継がれています。お会いしたことがない神父様にシスター方を通してお目にかかっているようです。(Y.F.)

初めまして。この度イエスのカリタス友の会事務局に加えていただきました、碑文谷教会の中村廣志と申します。私は2003年から6年間、フィリピンのマニラ市南郊外サンタローザ地区にある工場に勤務いたしました。近隣にあったドンボスコスクールを訪ねて日本人シスターの皆様と交流したのがカリタスとの出会いでした。また、こうして生前大変お世話になりました故関根達郎元事務局長の遺志を継いで友の会のお手伝いをさせて頂けることは身に余る光栄であり、神様のお導きとして感謝しております。微力ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。(H.N.)

ボリビア
宣教60周年(1964年)



INFORMATION

フィリピン
カリタス・ドンボスコスクール創立30周年
(2024年6月13日)



1994年 地区の集会所を借りて21名の園児で始まった

イエスのカリタス修道女会のホームページからスモールクワイアのお知らせ、
CDのお申込み方法など載せていますので、ぜひ、ご利用ください。

寄付金受け入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会
郵便振替口座 00160-2-564970
イエスのカリタス修道女会ホームページ
<http://www.m-caritas.jp>

発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草4丁目20-5
TEL:03-3396-2717 FAX:03-3396-2150
e-mail: tomonokai@m-caritas.jp
代表 山縣久美子 : 事務局長 片山久美子